

ようこそ 中部保育所へ



1

ISSスローガン



安全・安心 | SS

命

は大事な宝物

やさしい心と

丈夫な体の

仲良し中部っ子

- 1 概要（職員と園児数）
- 2 保育所を取り巻く環境
- 3 ケガの状況
- 4 ケガの発生状況の分析
- 5 8つの指標に基づいた取組
- 6 課題と今後に向けて



2

1 概要（職員と園児数）



昭和46年（1971年） 設立

創立48年目

園児数 79人 0歳児— 6人 1歳児—12人 2歳児—12人
 3歳児—20人 4歳児—13人 5歳児—16人

職員33人

2018年4月現在



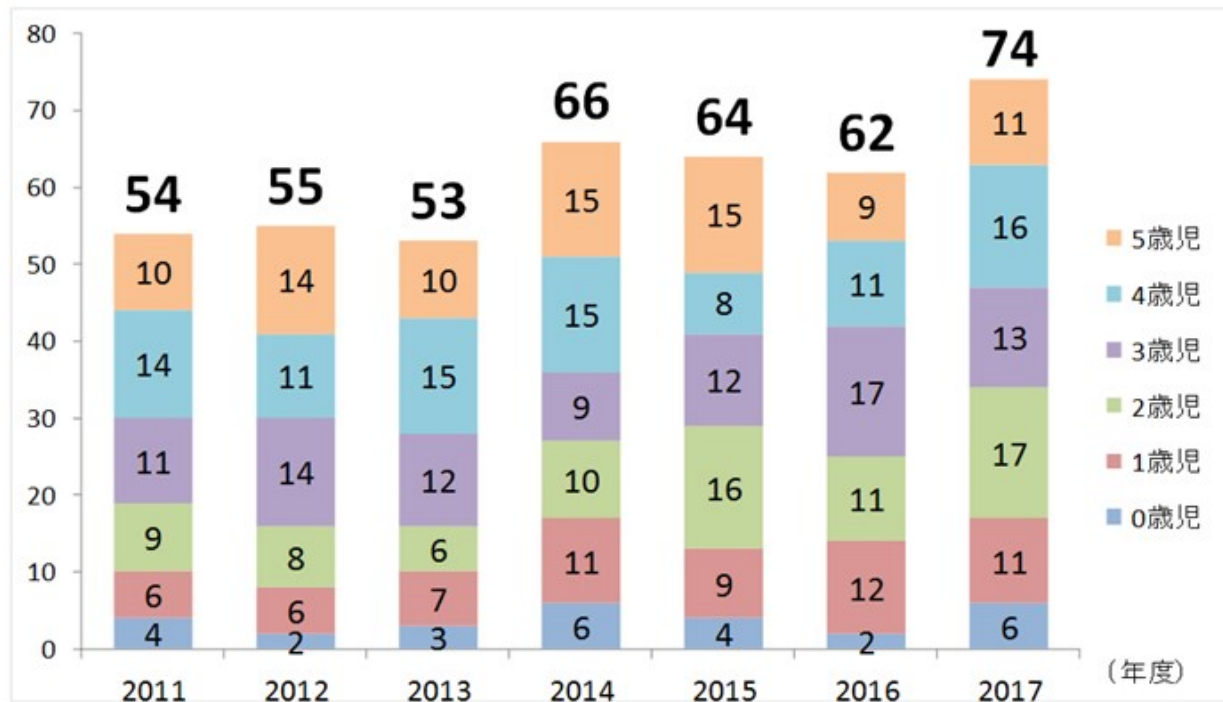
3

中部保育所園児数推移

図-1

（1年間の平均在籍園児数）

（人）



出典：中部保育所データ

4

2 保育所を取り巻く環境



5

道路に面した
フェンスが低い



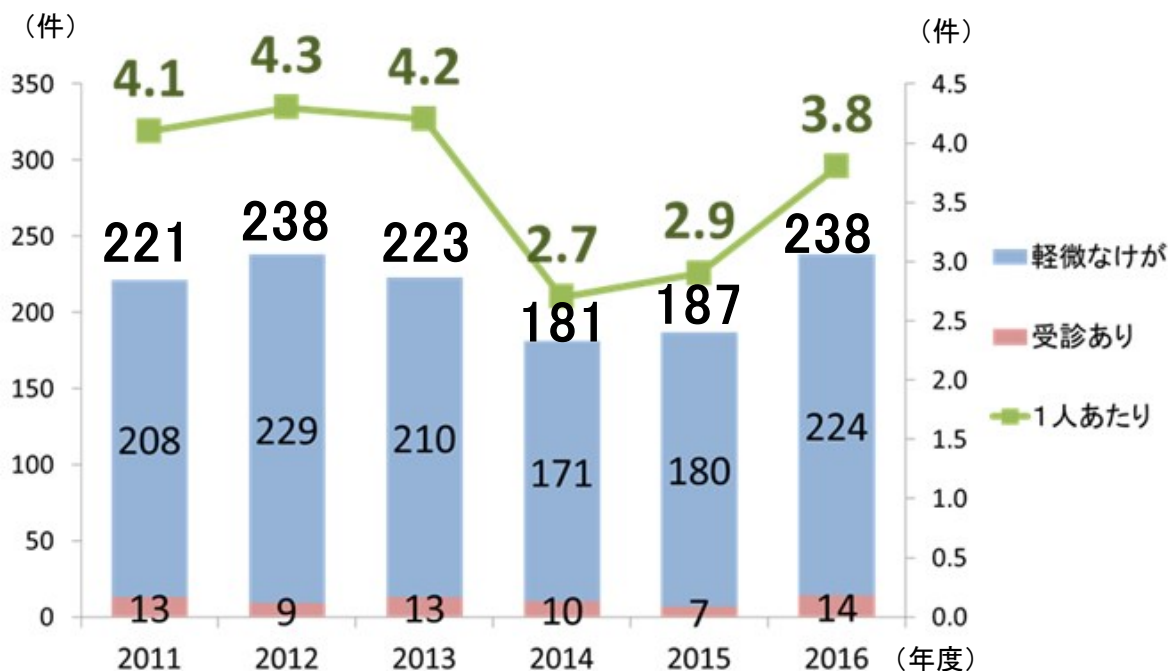
玄関のすぐ横に
駐車場がある



6

3 ケガの状況

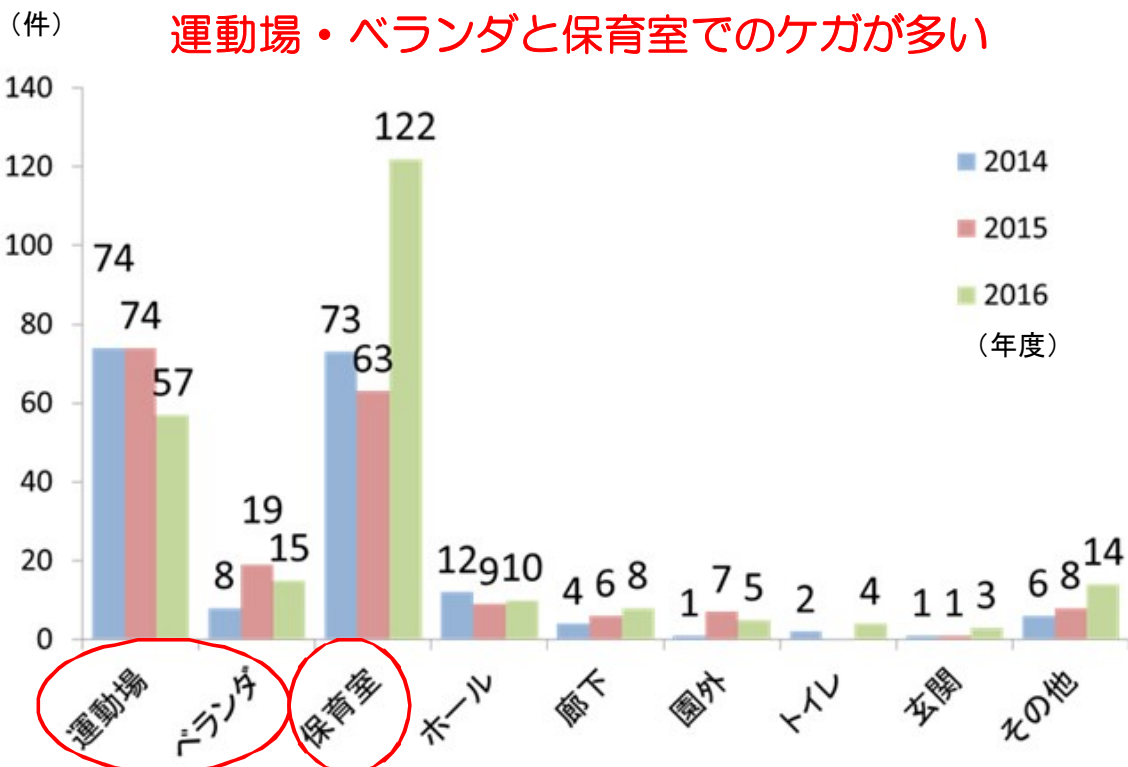
年度別ケガ発生件数（2011～2016年度） 図-2



出典：公立保育所外傷データ

7

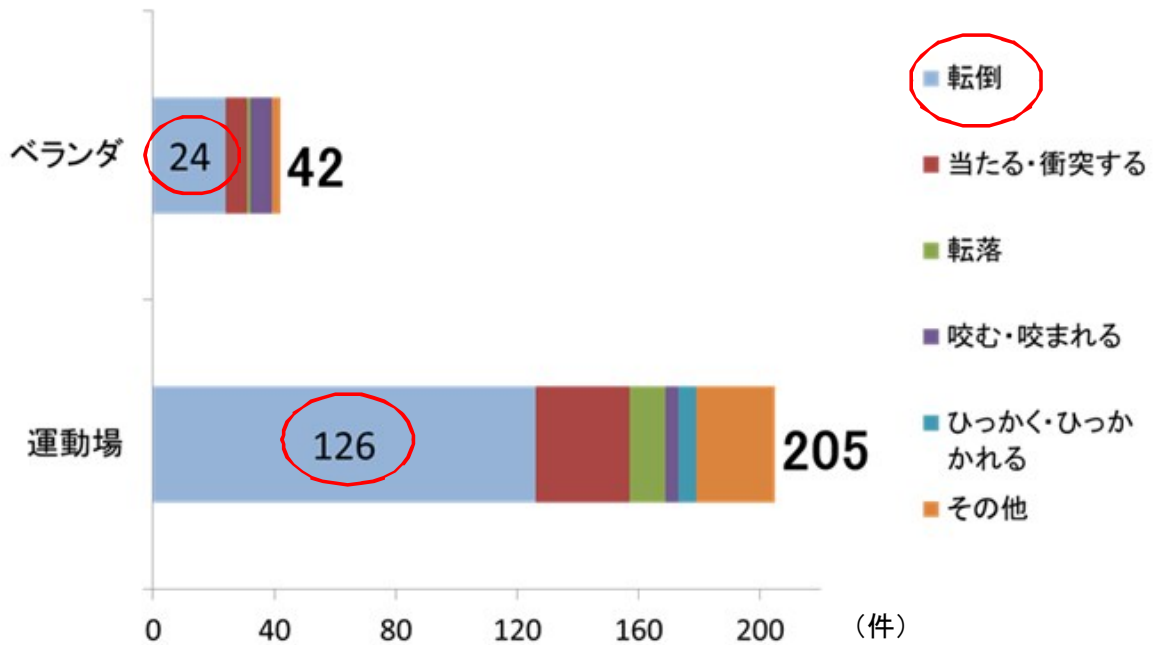
場所別ケガ発生数の推移 図-3



出典：公立保育所外傷データ

8

運動場・ベランダのケガは転倒が多い

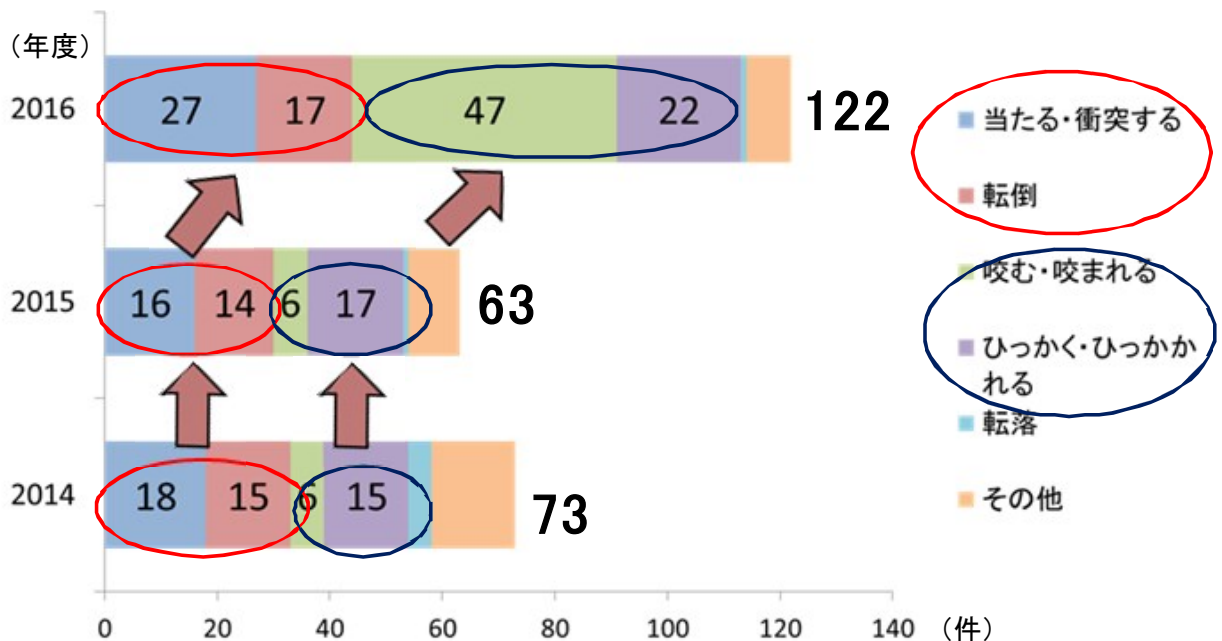


出典：公立保育所外傷データ

9

保育室のケガは衝突・転倒が多い

咬む、咬まれる・ひっかく、ひっかかれるケガが増えている



出典：公立保育所外傷データ

10

4 ケガの発生状況の分析

ISS認証時の状況

場所		課題
園内	園舎内	・保育室での接触・転倒のケガが多い。
	園舎外	・運動場での転倒のケガが多い。
園外		・道路に面しているフェンスが低い。 ・登所、降所時や園外保育時に通る、保育所前の道路の交通量が多い。

現在の状況

場所		課題
園内	園舎内	・保育室での衝突・転倒のケガが多い。(図-3・5) ・他児とのトラブルによるケガが増えた。(図-5)
	園舎外	・運動場・ベランダでの転倒のケガが多い。 (図-3・4)
園外		・道路に面しているフェンスが低い。 ・玄関を出てすぐ横に駐車場がある。

11

5 8つの指標に基づいた取組

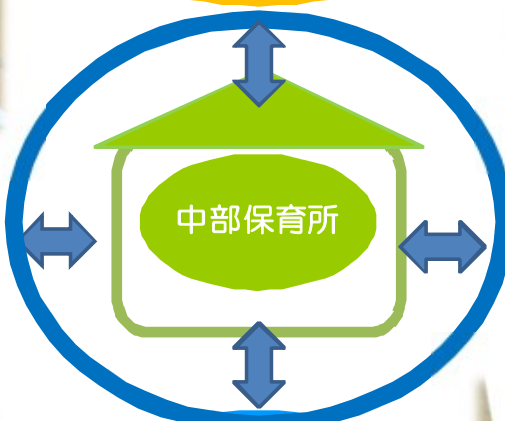
地域の体制

指標1



曾我部交番所
蒔田野駐在所
亀岡警察署
中部広域消防組合

子育て支援センター
亀岡市役所



自治会
民生委員児童委員
人権福祉センター



曾我部小学校
蒔田野小学校
吉川小学校
南桑中学校



12

保護者とISS活動事例

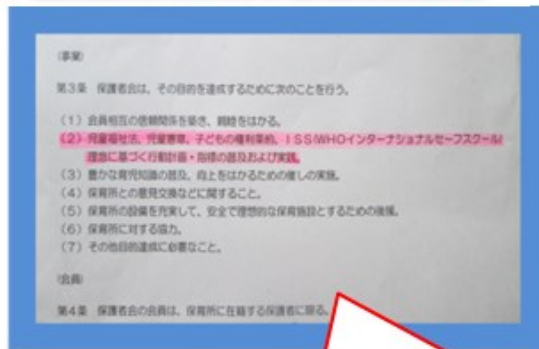


親子で遊具づくり



子どもの人権について考えました

安全な送迎



保護者会会則に明記

「ISSの理念に基づく
行動計画・指標の普及及び実践」

13

学校との連携

『ISS認証校曾我部小学校の交通教室に参加』



14

蚕の飼育



スズムシの飼育



15

指標3

市立保育所の予防活動一覧(1.体づくり 2.安全教育 3.環境改善)

(数値はプログラム番号)

表-1

		園児					職員				保護者・地域				
園内	園舎内	1-1	1-8*	2-1	2-9	2-16	3-1	1-1	2-1	2-9	3-1	1-6	2-5	2-14	3-1
		1-2	1-10*	2-2	2-10	2-17*	3-2	1-2	2-2	2-10	3-5	1-7*	2-6	2-15	3-5
		1-4		2-3	2-11		3-5	1-4	2-3	2-11	3-6		2-9	2-17*	3-6
		1-5		2-4	2-12		3-6	1-5	2-4	2-14	3-7*		2-10		3-7*
		1-6													
		1-7*													
	園舎外	1-1	2-1											2-15	3-1
		1-2	2-2											2-17*	3-2
		1-4	2-3												3-3
		1-5	2-4												3-4
1-6		2-5												3-5	
1-7*		2-6												3-6	
園外	家庭	1-10*	2-7											4	3-8*
		1-6	2-6											2-11	
		2-9												2-13	
		2-1												2-15	
	地域							2-17*				2-10	2-17*		
		1-3	2-1	2-11	3-1			1-3	2-1	2-10	3-1	1-3	2-5	2-11	3-1
			2-5	2-12	3-2			1-9*	2-5	2-11	3-2	1-6	2-7	2-12	3-2
			2-7	2-14	3-3				2-7	2-12	3-3		2-8	2-13	3-3
			2-8	2-15	3-4				2-8	2-14	3-4		2-9	2-14	3-4
			2-9	2-17*	3-6				2-9	2-17*	3-6		2-10	2-15	3-6
	2-10		3-8*										2-17*	3-8*	

16

指標4

課題: 玄関のすぐ横に駐車場がある環境(環境)

設定理由	・登降所時にとおる正門を出るとすぐに駐車場があり、園児の飛び出しの危険性がある。 ・送迎時は自動車の陰で、子どもの姿が見えにくい。 ・保護者の手を離し、子どもが先に自動車へ向かい、ヒヤリとする場面があった。
対策内容	・交通安全教室・安全集会の実施(安全教育) ・飛び出し防止の表示や停止線の設置・お便りの発行 ・職員による登降所時の見守り
成果	・保護者と手をつないで歩く、停止線で止まって待つ子どもが増えた。

17

指標4

駐車場での安全確認



駐車場では
お家の人と手をつなぐ



飛び出し注意の表示



停止線で止まって安全確認



18



ひまわりの絆プロジェクト
交通安全運動スタート式に参加



19

けがの状況

- 保育室での衝突・転倒のケガが多い（図－3・5）
発生要因…人や物との接触・踏く・バランスを崩すことで発生していることが多い
- 運動場・ベランダでの転倒のケガが多い（図－3・4）
（重症化しやすいベランダのケガ）
発生要因…踏く、バランスを崩すことで発生している
- 他児とのトラブルによるケガが多い（新規）（図－5）
発生場所…保育室が多い
発生要因…噛むひっかくなど他児とのトラブルにより発生している



20

指標5

予防対象	課題	対策
①保育室の衝突・転倒によるケガ (図-3・5)	バランス力の向上	①運動遊びプログラム
②運動場・ベランダの転倒によるケガ (図-3・4)	安全意識の向上	②ISSキッズプログラム
	環境改善	③環境改善プログラム
③他児とのトラブルによるケガ(新規) (図-5)	心の安定(新規)	④仲間づくりプログラム(新規)

21

指標5

課題解決に向けた取組

①運動遊びプログラム



予防対象	保育室での衝突・転倒 運動場・ベランダでの転倒のケガ
方向性	運動遊びによる危険回避能力(バランス力)の向上
対象者	全園児
概要	リズム遊び、体操、手作り遊具(竹馬、てんぐの下駄、竹ぽっくり)、縄跳び、散歩、太鼓遊び、雑巾がけ等
改善点	リズム遊びの職員研修会 職員間で子どもの姿から運動遊びの内容を検討

22

指標5

運動遊び・体操

リズム遊び



活動実績
2015年度 319回
2016年度 263回
2017年度 341回

体操

活動実績
2015年度 739回
2016年度 455回
2017年度 806回



23

指標5

手作り遊具・雑巾がけ

手作り遊具



活動実績
2015年度 170回
2016年度 148回
2017年度 155回

雑巾がけ



活動実績
2016年度 135回
2017年度 225回

24



② ISSキッズプログラム

予防対象	保育室での衝突・転倒、 運動場・ベランダでの転倒のケガ
方向性	安全意識の向上（ルールを理解と実践）
対象者	全園児
概要	「中部ISSキッズ」の活動 ・危険個所の発見と改善、啓発 ・視覚教材の作製と啓発 ・安全集会の実施
改善点	ISSキッズ主体に安全集会を進める。

25

「中部ISSキッズ」の活動

安全集会の実施



活動実績	
2015年度	12回
2016年度	12回
2017年度	31回

26

指標5

「中部ISSキッズ」の活動



視覚教材の作製と設置

おはよう当番



活動実績

2017年度 ほぼ毎日



活動実績

2017年度 3回



27

指標5

課題解決に向けた取組

③環境改善プログラム

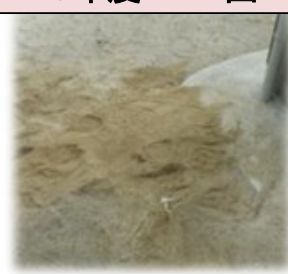
予防対象	保育室での衝突・転倒 運動場・ベランダでの転倒のケガ 保育室での他児とのトラブルによるケガ
課題	保育環境の改善
対象者	園児・職員
概要	小グループに分かれた活動の実施 安全点検 保育環境改善
改善点	小グループ保育の実施 ベランダの遊具の置き場所変更 あそびのコーナー分け

28

指標5

環境改善

安全点検の実施



活動実績	2014年度	12回
	2015年度	12回
	2016年度	12回

環境改善



ベランダ改善前

活動実績	2015年度	118箇所
	2016年度	80箇所
	2017年度	120箇所



ベランダ改善後

29

指標5

環境改善

小グループ活動



活動実績	
2016年度	42回
2017年度	毎日

保育の環境改善

活動実績	
2016年度	15回
2017年度	毎日



30

課題解決に向けた取組

④仲間作りプログラム **新規**



予防対象	保育室での他児とのトラブルによるケガ
課題	異年齢児交流をとおして心の安定を図る
対象者	園児、職員
概要	異年齢児と好きな遊びを楽しむ 身近な生活の中で一緒に過ごす 心育で集会
改善点	職員間の連携を充分取る 計画的に取り組みを進める

31

仲間づくり

異年齢児交流

活動実績
2017年度 57回



32

指標5

仲間づくり

仲間づくり集会



生き物の飼育



活動実績

2015年度 12回

2016年度 12回

2017年度 12回

33

指標7

①運動遊びプログラム

短期 中期的指標

【指標】

片足立ちの持続時間(図-6・7)

【測定方法】

体力測定

長期的指標

【指標】

保育室の衝突・転倒のケガの減少(図-9)

運動場の転倒のケガの減少(図-10)

【測定方法】

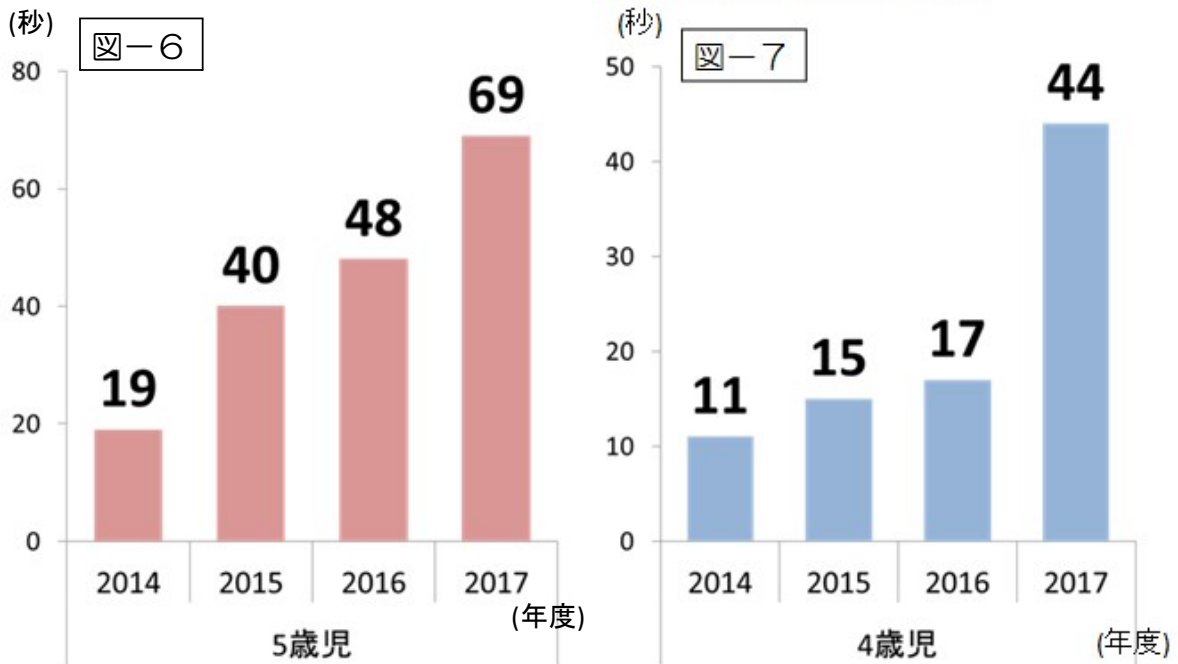
ケガ数の記録

34

指標7

片足立ちの持続時間の推移

片足立ちの持続時間は年齢毎に毎年伸びている



出典：中部保育所データ

35

指標7

② I S S キッズプログラム

短期
中期的指標

【指標】

安全集会の回数
ベランダを走る園児数(図-8)

【測定方法】

安全集会の実施状況
ベランダでの行動観察

長期的指標

【指標】

運動場・ベランダでのケガ数の減少(図-10)
保育室の衝突のケガ数の減少(図-9)

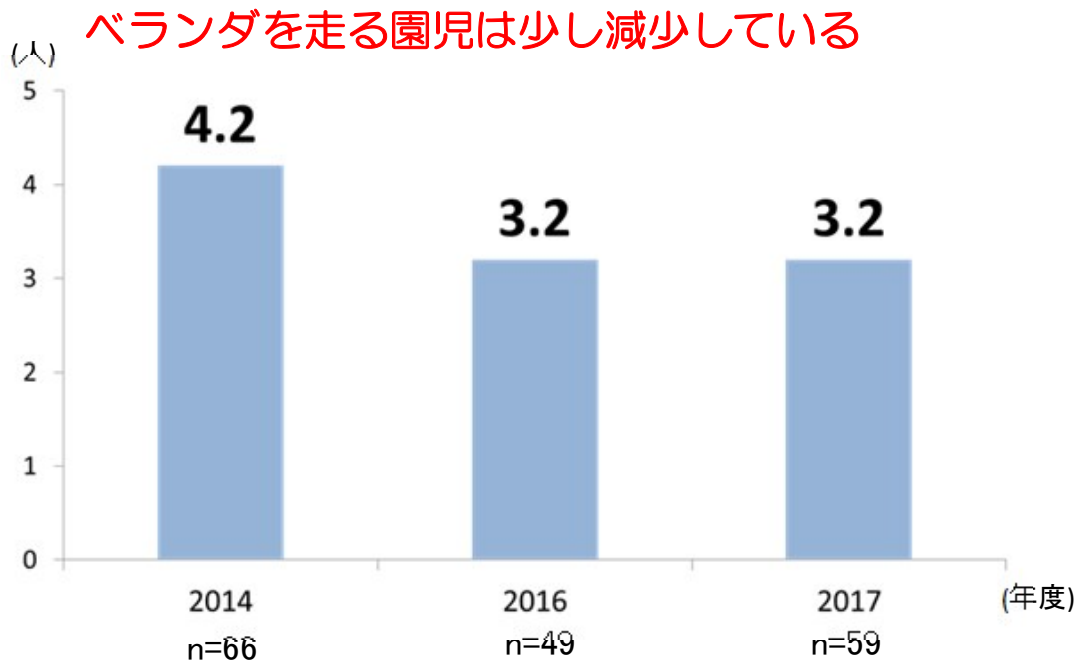
【測定方法】

ケガ数の記録

36

ベランダを走る園児数の推移（10人あたり）

図-8



出典：中部保育所データ

37

③環境改善プログラム

短期
中期的指標

【指標】

安全点検による環境改善箇所数

【測定方法】

安全点検及び環境改善の実施報告書

長期的
指標

【指標】

保育室の衝突・転倒のケガの減少(図-9)

運動場・ベランダでのケガ数の減少(図-10)

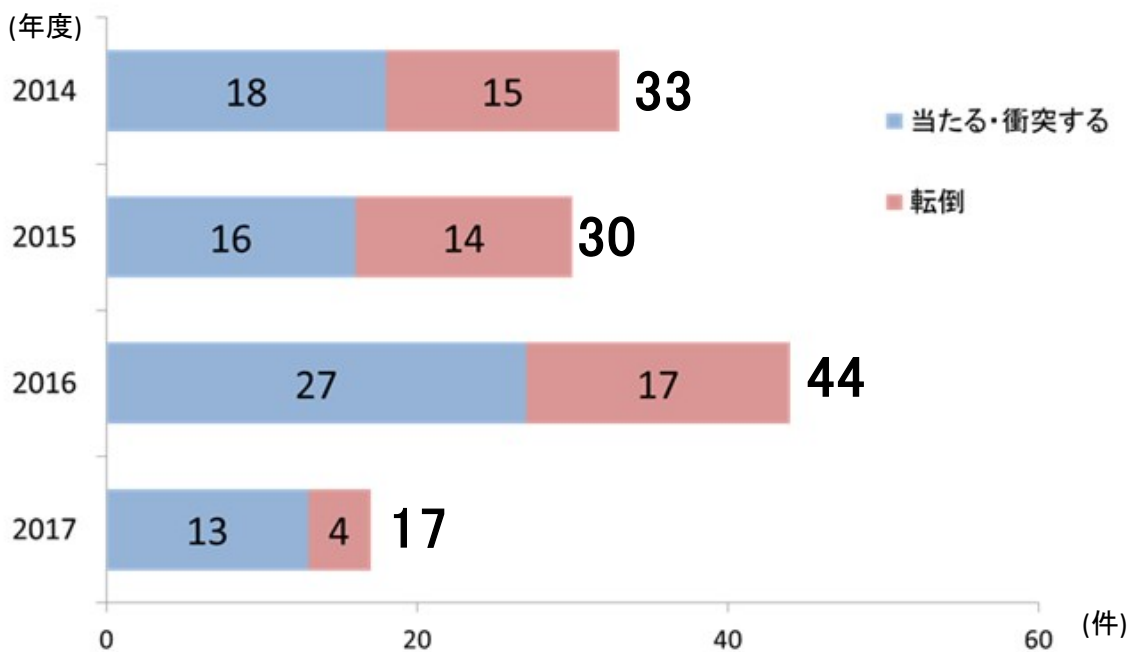
他児とのトラブルによるケガの減少(図-11)

【測定方法】

ケガ数の記録

38

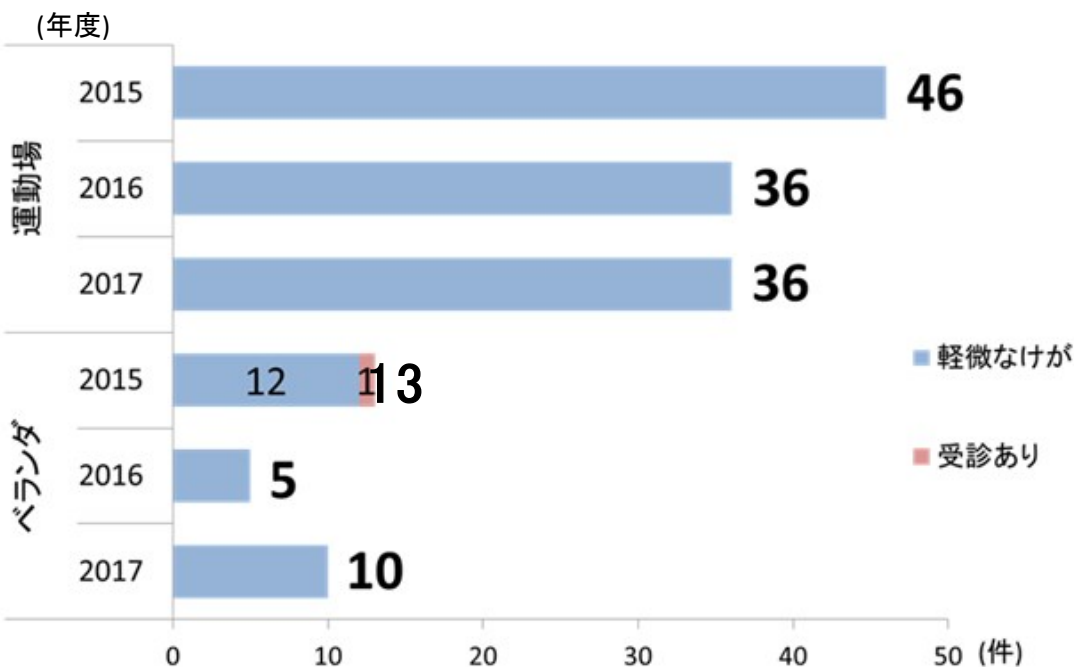
保育室の衝突・転倒のケガは減少している



出典：中部保育所データ

39

運動場・ベランダの転倒のケガは重傷化していない



出典：中部保育所データ

40

④仲間づくりプログラム

短期 中期的指標

【指標】

異年齢児交流の回数

【測定方法】

異年齢児交流の実施報告

地域ネットワーク会議の実施報告

長期的指標

【指標】

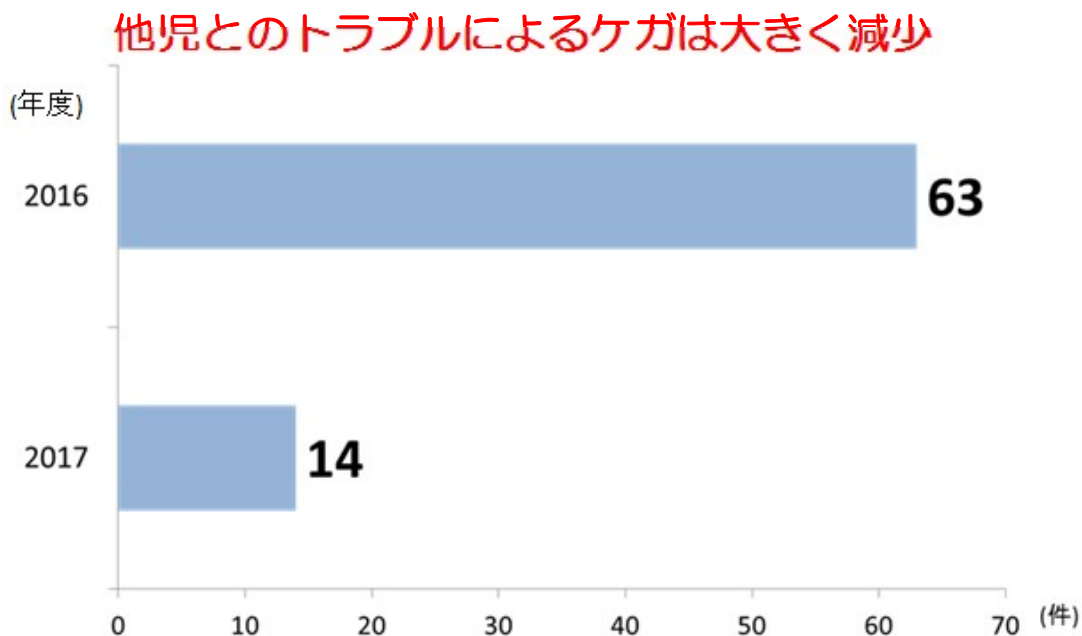
他児とのトラブルによるケガの減少
(図-11)

【測定方法】

ケガ数の記録

41

保育室の他児とのトラブルによるケガ件数の推移 図-11



6 成果・課題と今後に向けて

成果

- 園児や保護者にISSの取組が定着してきている。
- 他児とのトラブルによるケガが減少した。
(図－11)
- 地域の連携によるネットワークの充実が図れた。

43

課題

- 園児の病院受診を要するケガが減っていない。(図－2)
- 保護者の安全意識に差がある。
- ISSの取組に対する職員の意識の差がある。

44

今後に向けて

- 園児主体の保育をととして、ケガを予防する力を育てる。
- 家庭でのケガ予防につながる啓発の工夫
- 職員の安全意識、危機管理意識の向上
- 地域ネットワークの充実

45

本日はありがとうございました



中部保育所



46